



鞠の浦学園だより



No.21
2021年(令和3年)2月22日

本や絵本の中には、素敵な世界が広がっています!

～感じながら、考えながら、たくさんのことを学ぶことができます～

大休憩や昼休憩の時間になると、図書館で本を読んだり、読みたい本を探したり借りたりする姿が見られます。ワクワクドキドキしながら本を探す気持ちがよく伝わってきます。

早目に登校して図書館で本を読んでいたたり、放課後、本を読んでいたたりする姿を見かけることがあります。本当に集中しており、本の世界で対話をしているなどと思います。



最近、絵本作家で画家でもある安野光雅(あんのみつまさ)さんの「かんがえる子ども」を読む機会がありました。本の帯には、「考えることは生きること!自分で答えを見つけるのがたのしいのです。」と書かれていました。

いくつか紹介します。

- ・本を読まないでも生きていけます。でも、本を読んで生きた人は、同じ十年生きていても、二十年も三十年も生きたことになります。
- ・「本を読む」ことと、「自分で考える」ことはつながっていると思います。「本を読むことは、自分の考えかたを育てること」です。とにかく、子どもたちには、自分で考えるくせをつけてほしいと思います。だれか偉い人が言っていたからとか、テレビで言っていたからとか、判断を他人に任せるようではつまらないではありませんか。頭がやわらかいうちに、たくさん本を読んで、世の中にはいろんな考えかたがあることを知りたいものです。

本の中には、別の世界が広がっています。その中で様々なことを感じながら、考えながら、たくさんことを学ぶことができます。「学ぶこと」の大きな柱は、本を読むことと対話かもしれません。

本の世界も含めて、お互いの思いを伝え合う対話はとても大切です。伝え合うことは理解し合うことにつながります。安野さんの絵本も見ましたが、たくさんメッセージが込められています。

絵本もすごいなと思います。子どもさんと一緒に楽しみながら過ごす時間もあるといいですね。そして、感じたこと思ったことを伝え合うと、互いに新たな一面を理解し合えるかもしれません。

9年生へ、感謝の気持ちを込めて!!

先週金曜日に、5年生～8年生の学園会と9送会実行委員が中心となって準備を進めてきた「9年生を送る会」が行われました。卒業間近の9年生に、これまでお世話になったことへの感謝の気持ちや学園生活の思い出を忘れないで頑張ってもらいたいという思いを伝えるために、様々な工夫が見られました。さらに、感染症対策もしっかりと行い、みんなが安心して楽しめるひと時となったようです。運動会同様に、子ども達が考え、責任をもって行う姿から大きな成長を感じました。

9年生に楽しんでもらうためには・・・5・6年中心にゲームの内容を何度も話し合いました



プレゼントするメダルには、9年生のことを思い浮かべながら絵やメッセージをかきました!



9年生や9年生に関わった先生方に関するクイズ・・・答えを聞いて新しい発見もありました!



7年～9年でいった第2部。先生方からのメッセージや9年生の思い出の写真が流れました!

～9年生からのメッセージ～



●9年生のために準備からすべて頑張ってくれて、本当にありがとうございました。楽しかったです。卒業前に最高の思い出をつくることができました。

●みなさんが好きなことにチャレンジできるのは、周りの方の支えがあるからです。周りの方への感謝の気持ちを忘れず、いろいろなことにチャレンジしてください。